

1. SVI-09/SVP-01-V I2C レジスタ表 Rev.1.00

スレーブアドレス: 8h (7bitアドレス)

1.1. アドレス 0h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
0	EVb_RST	‘1’でカメラ・モジュールにリセットをかける	RW	0
1	RESERVED	予約	RW	0
2	SOLARIS_SW	SVI-09 では未サポート	RW	0
3	LINE_SW	SVI-09 では未サポート	RW	0
4	WAKU_SW	SVI-09 では未サポート	RW	0
5	STILL	SVI-09 では未サポート	RW	0
6	MON_CAP_16/8	SVI-09 では未サポート	RW	0
7	Cam_Clk_disable	“1”でカメラ・モジュールへの CLK 出力を停止し、Low レベルにする。 “0”でカメラ・モジュールへの CLK 出力を開始する。 ※将来サポート	RW	0

1.2. アドレス 1h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
[7:0]	汎用出力ポート[7:0]	カメラ・モジュールへの汎用出力ポート D0:D7→P3:P10(コネクタ信号名)	RW	0

1.3. アドレス 2h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
[7:0]	汎用入力ポート[7:0]	カメラ・モジュールからの汎用入力ポート[7:0]	RO	0

1.4. アドレス9h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
[7:0]	SVIボードバージョン[7:0]	3:SVI-03/SVI-09 4:SVI-04 6:SVI-06	RO	0

1.5. アドレスAh

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
[7:0]	PLL周波数[7:0]	PLL 周波数設定値の bit[7-0](単位KB)	RO	0

1.6. アドレスBh

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
[7:0]	PLL周波数[15:8]	PLL 周波数設定値の bit[15-8](単位KB)	RO	0

1.7. アドレスCh

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
[7:0]	PLL周波数[23:16]	PLL 周波数設定値の bit[23-16](単位KB)	RO	0

1.8. アドレスDh

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
[7:0]	PLL周波数[31:24]	PLL 周波数設定値の bit[31-24](単位KB)	RO	0

1.9. アドレス20h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
0	CAM_RESET	‘1’を書き込むと xRst 信号を‘0’とします。‘0’を書き込むと xRst 信号を‘1’とします。‘1’でリセット、‘0’でリセット解除です。	RW	0
1	SYNC_LEVEL	‘0’でカメラの同期信号を負論理、‘1’で正論理とみなす	RW	0
2	CAM_POWER	‘1’でカメラ電源を ON にする。ただし、外付けカメラ電源スイッチも ON でなければ、カメラ電源は ON しない。	RW	0
3		未使用	RW	0
4	STATE[0]	バッファ制御ステータス 4’d0=Idle、4’d1=Monitoring、4’d2=Recording ※SVIUSB20_GetStatus API にて確認してください	RO	0
5	STATE[1]		RO	0
6	STATE[2]		RO	0
7	STATE[3]		RO	0

1.10. アドレス21h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	FPGA_VER	FPGA バージョン番号 ※将来サポート	RO	10H

1.11. アドレス22h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	FIRM_VER	FIRMWARE バージョン番号 ※将来サポート	RO	10H

1.12. アドレス23h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	BOARD_KIND	SV ボードの種類 0:その他、1:SVI-09、2:SVM-06	RO	0

1.13. アドレス24h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
0	S_D0	特に機能はない	RO	－
1	S_D1	特に機能はない	RO	－
2	S_D2	特に機能はない	RO	－
3	S_D3	特に機能はない	RO	－
4	S_D4	特に機能はない	RO	－
5	S_D5	特に機能はない	RO	－
6	S_D6	特に機能はない	RO	－
7	S_D7	特に機能はない	RO	－

1.14. アドレス25h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
0	S_VSYNC	特に機能はない	RO	－
1	S_HSYNC	特に機能はない	RO	－
2	S_DCK	特に機能はない	RO	－
3	S_SCL	特に機能はない	RO	－
4	S_SDA	特に機能はない	RO	－
5	SRESERVED	予約	RO	－
6	VSYNC	カメラ I/F の VSYNC 信号の現在の状態をそのまま、みることができる ※将来サポート	RO	－
7	HSYNC	カメラ I/F の HSYNC 信号の現在の状態をそのまま、みることができる ※将来サポート	RO	－

1.15. アドレス26h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CAM_HSIZE[7:0]	カメラ出力水平画像サイズ ※SVIUSB20_GetStatus API にて確認してください	RO	－

1.16. アドレス27h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CAM_HSIZE[15:8]	カメラ出力水平画像サイズ ※SVIUSB20_GetStatus API にて確認してください	RO	－

1.17. アドレス28h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CAM_VSIZE[7:0]	カメラ出力垂直画像サイズ ※SVIUSB20_GetStatus API にて確認してください	RO	－

1.18. アドレス29h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CAM_VSIZE[15:8]	カメラ出力垂直画像サイズ ※SVIUSB20_GetStatus API にて確認してください	RO	－

1.19. アドレス2Eh

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
0	DCK_H	'0'で DCK の立ち上がりでデータを取り込む、'1'で DCK の立ち下りでデータを取り込む	RW	0
1	RESERVED	特に機能はない	RW	0
2	RESERVED	特に機能はない	RW	0
3	RESERVED	特に機能はない	RW	0
4	RESERVED	特に機能はない	RW	0
5	RESERVED	特に機能はない	RW	0
6	RESERVED	特に機能はない	RW	0
7	RESERVED	予約	RW	0

1.20. アドレス30h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CUT_X[7:0]	切り出し先頭 X 座標を指定する。偶数のみ指定可能。 ※SVIUSB20_MonStart API にて指定してください	RW	0

1.21. アドレス31h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CUT_X[15:8]	切り出し先頭 X 座標を指定する。偶数のみ指定可能。 ※SVIUSB20_MonStart API にて指定してください	RW	0

1.22. アドレス32h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CUT_Y[7:0]	切り出し先頭 Y 座標を指定する。 ※SVIUSB20_MonStart API にて指定してください	RW	0

1.23. アドレス33h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CUT_Y[15:8]	切り出し先頭 Y 座標を指定する。 ※SVIUSB20_MonStart API にて指定してください	RW	0

1.24. アドレス34h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CUT_XSIZE[7:0]	切り出し水平サイズを指定する。偶数のみ指定可能。 ※SVIUSB20_MonStart API にて指定してください	RW	FFh

1.25. アドレス35h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CUT_XSIZE[15:8]	切り出し水平サイズを指定する。偶数のみ指定可能。 ※SVIUSB20_MonStart API にて指定してください	RW	FFh

1.26. アドレス36h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CUT_YSIZE[7:0]	切り出し垂直サイズを指定する。 ※SVIUSB20_MonStart API にて指定してください	RW	FFh

1.27. アドレス37h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
7:0	CUT_YSIZE[15:8]	切り出し垂直サイズを指定する。 ※SVIUSB20_MonStart API にて指定してください	RW	FFh

1.28. アドレス38h

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
0	予約	常に0を書き込むこと	RW	0
[2:1]	予約	常に0を書き込むこと	RW	0
3	予約	常に0を書き込むこと	RW	0
4	予約	常に0を書き込むこと	RW	0
5	HS_INVERT	‘1’で、HS を反転する。‘0’では反転しない。反転は前処理ブロックの入力直後で行う。SH2 レジスタによる SyncMode 設定とは独立している。 ※将来サポート	RW	0
6	VS_INVERT	‘1’で VS 入力を反転する。‘0’では反転しない。反転は前処理ブロックの入力直後で行う。SH2 レジスタによる SyncMode 設定とは独立している。 ※将来サポート	RW	0
7	予約	常に0を書き込むこと	RW	0

1.29. アドレス3Ah

ビット	ビット名	説明	RW	RST 後
0	SAV/EAV	0:VS/HS 取り込み 1:SAVEAV 取り込み	RW	0
[31:1]	予約	予約	RO	0